

佐々木 悠葵 (群馬/115期)

1カ月の病欠から復帰後はやや調子を落としていたが、ここに来てスピードが戻ってきた感がある。ダービーの2走目にまくり上げて2着に突っ込んだスピードは素晴らしかった。昨年は6Vを達成したように底力はあるので注意したい。



PICK UP RACE



大川 龍二 (広島/91期)

スピードに磨きがかかり、今年は勝ち星が増えている。2月岸和田ではS級初Vを3連勝で飾るなど17勝を挙げていて、勝率は昨年の19.5%から42.5%に跳ね上がっている。一次予選はもちろん、二次予選でも目が離せない。



山形 一気 (徳島/96期)

F1戦では2場所に1回のペースで決勝に乗っていて、今期は成績がまとまっている。勝ち星は4月末で10勝、早くも昨年の8勝を上回った。目標をつかんだ時の捌き、差し脚はしっかりしているので、好位置あるレースは連の対象から外せない。

レインボーカップA級ファイナル

橋本瑠偉が特進を決める



1〜3着に入ればS級に特進する期末恒例の「レインボーカップA級ファイナル」。7月からもA級なのは橋本瑠偉と台和紀で、モチベーションの高さを考えてもこの2人がレースの中心になるとみた。本命は橋本だ。2月に栃木へと移籍すると、眞杉匠を筆頭に伸び盛りの若手がそろって環境に刺激を受けて113期ナンバーワンが遂に本格的に覚醒。2月以降は8場所走って5V、準V2回で連を外したのは僅かに1走のみだ。もともと長い距離を踏み切れるようになりたい」と本人は課題を挙げて上を見ているが、現時点でもA級最強レベルの豪脚を誇る。来期からS級復帰が決まっている小原唯志と栃茨で連係が有力だろうが、小原の機動力に頼ることなく自分が前回りVを奪いにいこう。

出場予定選手詳細 ※2022年5月23日現在

選手名	出身	期	身長	体重	近4ヶ月前期得点	今期得点	直近12場所成績	総合評価
齋木 翔多	静岡県静岡市	23	173cm	75kg	115期 173cm75	400	115期 173cm75	22
橋本 瑠偉	栃木県宇都宮市	27	169cm	72kg	113期 169cm72	500	113期 169cm72	77
久保田 泰弘	山口県防府市	27	166cm	71kg	111期 166cm71	333	111期 166cm71	51
寺沼 将彦	東京都八王子市	30	168cm	74kg	103期 168cm74	400	103期 168cm74	66
栗山 俊介	奈良県奈良市	33	173cm	87kg	103期 173cm87	333	103期 173cm87	68
小原 唯志	茨城県取手市	39	172cm	77kg	101期 172cm77	400	101期 172cm77	31
北野 良栄	愛知県海部郡	38	182cm	85kg	95期 182cm85	400	95期 182cm85	36
台 和紀	埼玉県加須市	45	171cm	72kg	83期 171cm72	500	83期 171cm72	38
八谷 誠賢	福岡県北九州市	47	175cm	71kg	77期 175cm71	400	77期 175cm71	47



寺沼将彦、台の埼京コンビはどう出るか。関東同士の栃茨勢との連係も考えられるし、台を3着以内を最優先に考えるなら寺沼が自分で自在戦も考えられる。寺沼も降級後は4Vを始めとして驚異的な戦績で、どこからでもアタマに突き抜けてくる脚。勝負駆けの台に任せたら後手は踏めない。単騎戦の可能性があっても齋木翔多の爆発力は侮れない。4月には連続優勝を果たすなど勢いは加速するばかりで、まくりでもカマシでもハマれば一発十分。久保田泰弘、八谷誠賢の西勢は、それぞれで持ち味を生かす競走か。ともに近況は良好で混戦では出番。北野良栄、栗山俊介の中間勢も組まずに自分で自力自在に戦いそう。栗山は4月に落車失格するまで一度も連を外さないパーフェクトぶりだったので、怪我の影響がなければ有力なV候補だ。